

# 地域との関わりを考える1日

自治行政局地域自立応援課  
**高橋 夏葉**  
TAKAHASHI NATSUHA

## Message

「地域の方々に寄り添い、快適な社会を作る仕事に携わりたい」という思いで総務省に入省しました。総務省には、地域への熱い思いを持って仕事に取り組まれている方がたくさんいるため、日々成長を感じられる職場であると実感しています。地域を考えるということは簡単ではありませんが、業務を通して感謝の言葉を頂いた時には大きな喜びを感じられます。みなさまと一緒に働くことができる日を楽しみにしています。



## 10:00 1日のスケジュール確認

出勤したらずまずメールチェックを行います。その後、1日の課内スケジュールを確認し、その日の全体の流れを把握することで、円滑な業務進行に努めます。

## 12:00 職場の方々とのランチ

お昼はデスクでゆっくりと過ごすことも多いですが、気分転換にランチに出かけることもあります。この日は、課内の方々とのランチに出かけました。

## 15:00 事業者との打合わせ

担当する業務のイベントについて、運営請負事業者の方と打合わせを行います。イベントの構成や運営について、企画をしたり、改善点を話し合ったりします。

## 17:00 起案文書準備、退庁

地方公共団体に通知する公文の起案準備をします。地方公共団体から提出された資料を確認し、必要に応じて修正依頼を行います。起案準備が終わったら、退庁します。

# ICTを活用したスマートシティ構築に向けた一年

情報流通行政局地域通信振興課  
**野木 彩夏**  
NOGI AYAKA



## Message

「ICTの基盤を整える、ICTで経済を活性化する」という業務に興味を持ち、入省しました。地域通信振興課では、自治体においては地域が抱える課題の解決に向け、様々なICT施策を行っています。地域の課題は防災、教育、観光等様々な分野に関わりがあり勉強することも多いですが、気軽に質問できる上司が多く困った時は必ず助けてくれます。また、職種・役職に関係なく政策作りの仕事ができるため、積極的に働きたい人におすすめの職場です。



## 4月～7月 補助事業者の採択・選定

報道発表の準備を整え、スマートシティ推進事業実施団体の公募を開始します。公募が終了すると、応募団体・有識者・総務省で会議を開き、採択団体を決定します。円滑な会議運営のため、関係者の日程調整や議事次第等資料の準備、応募団体の提案書類の内容確認を事前に行うことも仕事の一つです。

## 7月～9月 来年度補助事業の計画策定

今年度の補助事業の実施と並行し、来年度の補助事業の計画策定を始めます。スマートシティの課題・状況について、企業や自治体にヒアリングをし、現場の声を収集します。疑問点などは若手であっても随時質問します。ヒアリング後は課題を整理し、来年度のスマートシティ推進のあり方について担当者間で相談します。



# 家計調査公表までの1カ月

統計局統計調査部  
消費統計課審査発表係  
**石岡 江梨**  
ISHIOKA ERI

## Message

「ぎょうざの支出金額日本一は宇都宮市か、浜松市か」このニュースを聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか。これは家計調査結果から算出されています。公表結果があらゆる場面で利用されているのを見ると、やりがいを感じると同時にミスがないよう改めて気が引き締まる思いで仕事に取り組んでいます。統計というと、数字と向き合うイメージを持たれると思いますが、公報原稿を作成したり、英語を使ったりと様々な業務があります。幅広い業務を経験できるのでぜひ説明会などで先輩職員の話聞いてみてください！



## 1週目 家計調査結果の公表

家計調査では、例えば4月の結果を翌月の月末から分析し、翌々月の初旬に公表しています。公表日には記者会見に同行したり、官邸に資料を配布したりするなど1年目から、緊張感のある仕事を経験することができます。

## 2週目 検討会への参加

家計調査の結果の公表に関わる仕事以外にも様々な業務があります。この日は、独立行政法人統計センターが開催する、消費実態に即した調査を行うための検討会に、オブザーバーとして参加しました。

## 3週目 調査結果の分析

統計センターから集計した結果が送られてくるデータをもとに、公表日当日に報道機関等に配布する資料を作成します。また、そのような結果となった要因を分析し、係内で共有します。

## 4週目 公表に向けた作業

公表日に向けた作業もいよいよ大詰めです。政府統計の総合窓口であるe-statへの登録作業や時系列や特定の品目を抜き出して結果を見ることができるデータベースへの登録作業などを行っています。



## 10月～12月 実地検査

実際に現地に行き補助事業の進捗状況・経理について確認します。直接顔をあわせる機会は少ないため、活発な議論が行われます。議論のポイントはメモを取り、出張後上司に報告します。中小自治体に行くことも多く、普段行かない地域でご当地のものを食べることも楽しみの一つです。

## 1月～3月 補助事業とりまとめ

年度末には補助事業の成果を、実績報告書として提出してもらいます。所期の目標に対する達成度や今後の取組について確認し、疑問点や改善できる点があれば意見を出すことで、補助事業後もスマートシティ推進に取り組む体制作りを目指します。補助事業者経由で住民の方の感謝の声を聞いたときは、事業の重要性を改めて感じます。

